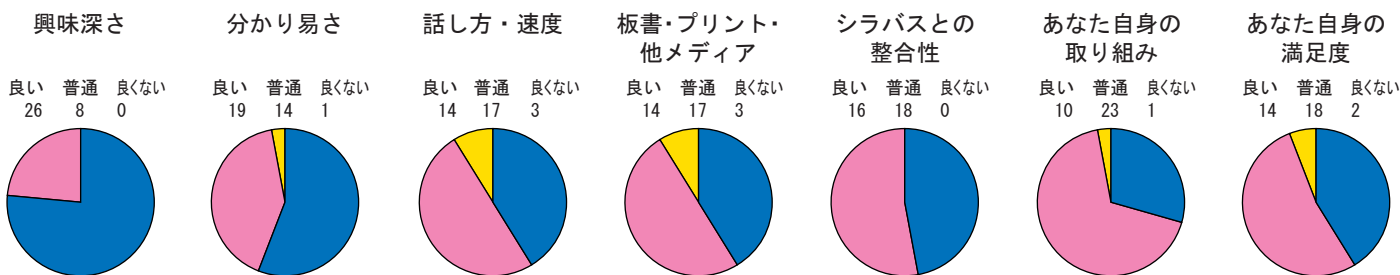


平成15年度1学期 生物学類授業評価
「総合科目A 遺伝子がつくる文明」

回答者数：34名 履修申請生物学類生数：56名 (回答率60%)



良かった点

- ・総合科目だから仕方ないと思うけど、生物の簡単なことからするからちょっとひまに思うときはある。▪
- ・いろいろなトピックや教官の話について聞いて、総合科目ならではの良さが出ていた。▪
- ・いろいろな分野から見た遺伝子が分かるのでいい。▪
- ・いろいろな分野の人の話が聞けた。▪
- ・色々な分野の方の話が聞けたので良かった。第三回の授業では植物に興味湧いた。▪
- ・ほぼ毎回異なる分野で活躍する講師の方がいらしていたので興味深く話を聞けた。▪
- ・毎回様々な話が聞いて良かった。▪
- ・教官と生徒の質疑応答が良かった。▪
- ・基本的な点を再確認できた。▪
- ・個別に見ると興味深い内容の授業があったのでよかったです。▪
- ・sa ▪
- ・いろいろな分野の人の話が聞いてよかった。▪
- ・Let it be 最高でした♪▪
- ・いろいろな先生の講義が聞いてよかった。▪
- ・先生の情熱的な話しぶり。

改善すべき点

- ・人数が多すぎるもう少し減らしてほしい。あとからあとから入ってきて集中できない。▪
- ・質問時間がどたばたしていた。H教授に急かされているのが。▪
- ・時間が無くて質問を受け付けてもらえない事が多かった。▪
- ・遺伝子を作る文明としての執峙舛量楯?? 呂濱擇謎覆? 辰 ▪
- ・質問するために手を挙げても、アシスタント。▪
- ・質疑をした人が評価で優遇されるのはどうかと思う。▪
- ・人数が多すぎる。▪
- ・少し速度が速かった。▪
- ・やっぱりあの質問形式は改善の余地があると思います。たとえば手を上げて番号をもらった人はかならずその質問を紙に書き、実際に質問した人以外はその紙と引き換えにシールを渡すシステムにしてみてもどうでしょうか。▪
- ・人数が多すぎて、受けにくい。質問もしづらい。▪
- ・質問がせかされるのが何とかなればいいなあと思います。▪

担当教官のコメント

ほとんど全てのコメントは受講生の人数が多すぎることに由来しているようだ。確かに受講生の人数が多いことによる欠点は沢山ある。しかし、逆に多いことによる利点も少なからずある。最初の授業ではその例を具体的に挙げながら良く考えてこの科目を選択するように注意深くガイダンスをしてきたはずである。来年度以降も申請者数が増えることが予想されるので、これらのコメントを例に挙げて更にきちんとしたガイダンスをしたい。また質疑応答を手際良くこなすためにティーチングアシスタント(TA)との打ち合わせもきちんとしていきたい。その結果、人数が多くても気にならない授業環境づくりも最大限工夫したい。▪

実は、すべての総合科目の中で、この総合科目「遺伝子がつくる文明」は長年に渡り受講生の数が群を抜いて全学で1位なのである。申請者数が420-480名もあり、これだけの人数が受講できる教室が筑波大学にはないことから先ず受講制限を実施している。その際、特定の学群・学類を指定して受講制限を設定すべきではないという考えから、すでにシラバスに書いている通り1年生を優先している。それでも結果的には400名前後の受講生(今回は428名)を定員350名の教室で受け入れることになる。出席率が9割であることを想定してもこれは極めて異常なことなので、最初の授業の時に「できれば自主的に他の総合科目に変えてほしい」と、そして「どうしてもこの科目を受講したい場合はこの異常事態を受け入れる」という条件付きで正式に申請するよう繰り返し指導しているし、シラバスにもその旨を記載してある。したがって、全ての受講生はこの条件を受け入れたの上で受講しているはずなのに「人数が多すぎる」「人数を減らしてほしい」というコメントは理解に苦しむ。「自分は受講するが他人は制限して人数を減らせ」という主旨の身勝手なコメントは是非差し控えるようにして頂きたい。